

図解 交通年鑑

(平成27年版)



TOTTORI POLICE

鳥 取 県 警 察 本 部



用語の意味

- 1 「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死傷を伴うもの(人身事故)をいう。
 - 2 「死亡」(「死者」)とは、交通事故の発生から24時間以内に亡くなった場合をいう。
 - 3 「負傷」(「負傷者」)とは、交通事故によって負傷し、治療を要する場合をいう。
なお、負傷の程度の判断は医師の診断に基づく。
 - 4 「第1当事者」とは、交通事故に関係した者のうち、過失が最も重い者、又は過失が同程度の場合は損傷が最も軽い者をいう。
 - 5 「高齢者」とは65歳以上の者、「若者」とは16歳以上25歳未満の者、「子ども」とは中学生以下の者をいう。
 - 6 「事故類型」とは、当事者の行動又は事故誘発行為をもって決定する事故の形態(人対車両、車両相互、車両単独等)をいう。
 - 7 「状態別」とは、当事者の事故当時の状態(運転中、同乗中、歩行中等)をいう。
- * 構成率等については、単位未満を四捨五入してあるため、表中、文中での数値が一致しない場合がある。

目 次

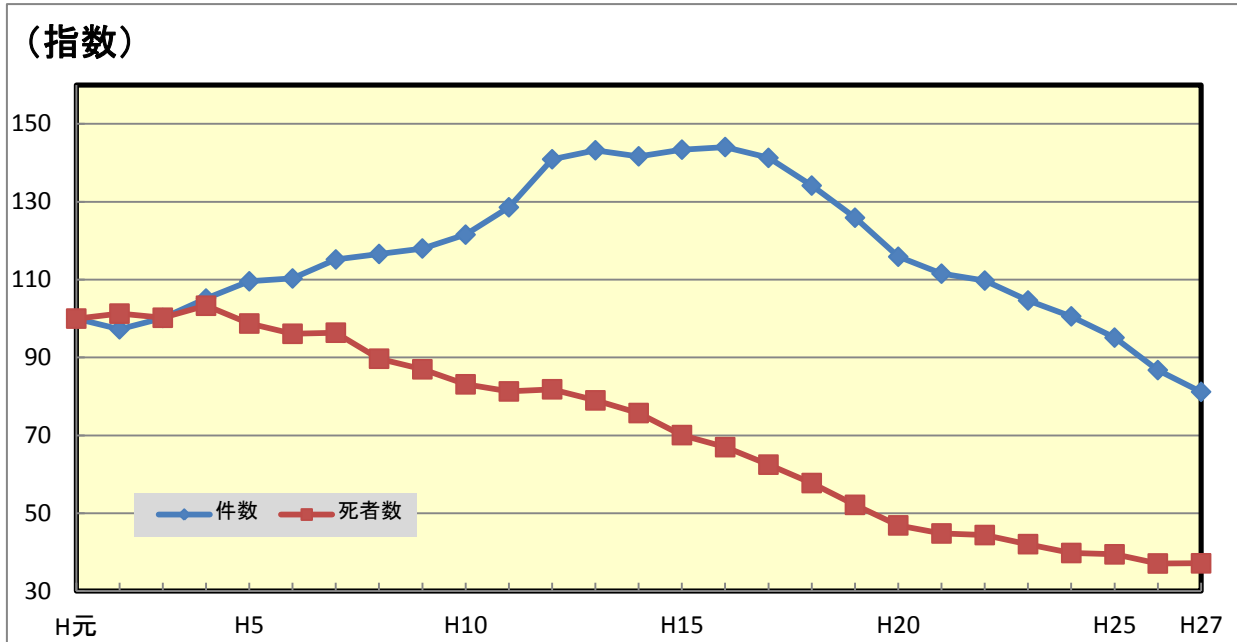
1	全国の交通事故	1
	(1) 全国の交通事故の推移	1
	(2) 都道府県別交通事故死者数	2
2	鳥取県の交通事故	3
	(1) 鳥取県の交通事故の推移	3
	(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率	4
	(3) 月別発生状況	5
	(4) 曜日別発生状況	5
	(5) 時間別・昼夜別発生状況	6
	(6) 道路別発生状況	7
	(7) 事故類型別発生状況	7
	(8) 年齢層別死傷者数	8
	(9) 状態別死傷者数	8
3	子どもの交通事故	9
	(1) 子どもの交通事故の推移	9
	(2) 学齢別死傷者数	9
	(3) 状態別死傷者数	10
4	高齢者の交通事故	11
	(1) 高齢者の交通事故の推移	11
	(2) 状態別死傷者数	11
	(3) 男女別死傷者数	12
	(4) 高齢者(第1当)事故件数	12
5	歩行者の交通事故	13
	(1) 歩行者の交通事故の推移	13
	(2) 年齢層別死傷者数	13
	(3) 事故類型別死傷者数	14
	(4) 歩行者の違反別死傷者数	14
6	自転車の交通事故	15
	(1) 自転車の交通事故の推移	15
	(2) 年齢層別死傷者数	15
	(3) 事故類型別死傷者数	16
	(4) 自転車の違反別死傷者数	16
7	二輪車(自動二輪・原付)の交通事故	17
	(1) 二輪車の交通事故の推移	17
	(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)	17
	(3) 事故類型別死傷者数	18
	(4) 二輪車の違反別死傷者数	18
8	交通死亡事故発生状況	18
	(1) 年齢層別・状態別死者数	19
	(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数	19
	(3) 第1当事者の状態別・違反別件数	20
	(4) 路線別・道路形状別件数	20

1 全国の交通事故

(1) 全国の交通事故の推移

全国の発生件数及び負傷者数は11年連続で減少したが、死者数は15年ぶりに増加に転じた。

(注) 指数は、平成元年を100とする。



区分 年別	件数	死者数	負傷者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和47年	659,283	15,918	889,198	6	729,461	10,653	881,723
48	586,713	14,574	789,948	7	761,794	10,684	922,677
49	490,452	11,432	651,420	8	771,085	9,943	942,204
50	472,938	10,792	622,467	9	780,401	9,642	958,925
51	471,041	9,734	613,957	10	803,882	9,214	990,676
52	460,649	8,945	593,211	11	850,371	9,012	1,050,399
53	464,037	8,783	594,116	12	931,950	9,073	1,155,707
54	471,573	8,466	596,282	13	947,253	8,757	1,181,039
55	476,677	8,760	598,719	14	936,950	8,396	1,168,029
56	485,578	8,719	607,346	15	948,281	7,768	1,181,681
57	502,261	9,073	626,192	16	952,720	7,436	1,183,617
58	526,362	9,520	654,822	17	934,346	6,937	1,157,113
59	518,642	9,262	644,321	18	887,267	6,415	1,098,564
60	552,788	9,261	681,346	19	832,704	5,796	1,034,652
61	579,190	9,317	712,330	20	766,394	5,209	945,703
62	590,723	9,347	722,179	21	737,637	4,979	911,215
63	614,481	10,344	752,845	22	725,924	4,948	896,297
平成元年	661,363	11,086	814,832	23	692,084	4,691	854,613
2	643,097	11,227	790,295	24	665,157	4,438	825,392
3	662,392	11,109	810,245	25	629,033	4,388	781,492
4	695,346	11,452	844,003	26	573,842	4,113	711,374
5	724,678	10,945	878,633	27	536,899	4,117	666,023

(2) 都道府県別交通事故死者数

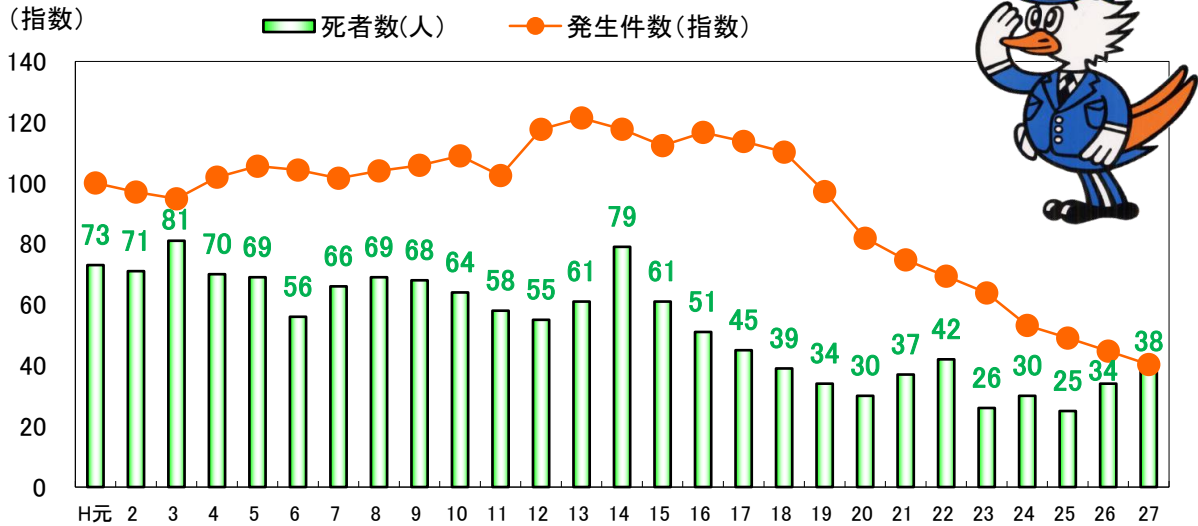
都道府県	死者数	人口 当り	順位	車両台数 当り	順位	免許人口 当り	順位	道路実延長 当り	順位	走行台 [※] 当り	順位	
北海道	177	3.278	34	0.436	30	0.522	30	1.960	42	0.677	38	
東 北	青森	40	3.028	38	0.354	42	0.467	37	2.005	40	0.562	45
	岩手	80	6.231	3	0.680	3	0.949	2	2.401	38	0.977	12
	宮城	66	2.835	43	0.352	43	0.429	42	2.643	32	0.626	42
	秋田	38	3.664	28	0.414	34	0.554	27	1.593	45	0.538	47
	山形	57	5.040	10	0.541	10	0.736	10	3.418	26	0.764	30
福島	77	3.979	23	0.421	33	0.588	25	1.968	41	0.673	39	
東京	161	1.202	47	0.318	47	0.207	47	6.654	3	1.000	9	
関 東	茨城	140	4.796	13	0.501	17	0.680	16	2.499	36	0.874	22
	栃木	98	4.949	11	0.520	12	0.699	12	3.874	18	0.875	21
	群馬	68	3.441	30	0.350	44	0.480	36	1.944	43	0.680	37
	埼玉	177	2.445	44	0.392	37	0.380	45	3.765	20	1.028	8
	千葉	180	2.905	40	0.451	26	0.450	40	4.436	10	1.115	5
	神奈川	178	1.957	46	0.378	41	0.318	46	6.951	2	1.256	1
	新潟	97	4.194	20	0.466	24	0.615	20	2.579	34	0.706	33
	山梨	33	3.924	26	0.387	39	0.554	27	2.941	29	0.761	31
	長野	69	3.272	35	0.328	46	0.464	39	1.438	47	0.601	43
	静岡	153	4.130	21	0.477	23	0.596	22	4.144	16	0.988	10
中 部	富山	70	6.542	2	0.731	2	0.934	3	5.039	8	1.135	4
	石川	46	3.979	23	0.485	21	0.591	23	3.518	23	0.702	35
	福井	47	5.949	4	0.662	4	0.865	4	4.316	12	0.959	14
	岐阜	106	5.194	8	0.593	8	0.746	9	3.455	24	0.911	16
	愛知	213	2.857	42	0.384	40	0.421	43	4.249	15	0.865	23
三重	87	4.767	14	0.518	13	0.687	13	3.437	25	0.834	27	
近 畿	滋賀	73	5.155	9	0.630	7	0.763	8	5.845	4	1.061	7
	京都	87	3.333	33	0.515	14	0.548	29	5.607	5	1.082	6
	大阪	196	2.218	45	0.433	31	0.384	44	10.069	1	1.223	2
	兵庫	171	3.086	37	0.481	22	0.492	35	4.690	9	0.956	15
	奈良	46	3.343	32	0.462	25	0.509	33	3.631	21	0.905	17
中 国	和歌山	48	4.943	12	0.512	15	0.708	11	3.529	22	0.978	11
	鳥取	38	6.620	1	0.747	1	0.989	1	4.296	13	0.893	18
	島根	27	3.874	27	0.444	27	0.583	26	1.479	46	0.560	46
	岡山	87	4.522	18	0.501	17	0.670	18	2.701	31	0.854	26
	広島	95	3.353	31	0.427	32	0.509	33	3.270	27	0.809	28
四 国	山口	64	4.545	17	0.536	11	0.687	13	3.855	19	0.751	32
	徳島	27	3.534	29	0.389	38	0.510	32	1.782	44	0.563	44
	香川	52	5.301	7	0.574	9	0.764	7	5.057	6	0.969	13
	愛媛	78	5.591	6	0.637	5	0.834	6	4.269	14	1.138	3
	高知	30	4.065	22	0.444	27	0.613	21	2.136	39	0.667	40
九 州	福岡	152	2.986	39	0.410	35	0.465	38	4.048	17	0.880	20
	佐賀	48	5.749	5	0.635	6	0.846	5	4.392	11	0.889	19
	長崎	45	3.247	36	0.408	36	0.521	31	2.497	37	0.685	36
	熊本	79	4.404	19	0.502	16	0.660	19	3.045	28	0.859	24
	大分	46	3.928	25	0.443	29	0.590	24	2.507	35	0.637	41
	宮崎	52	4.668	15	0.494	20	0.680	16	2.581	33	0.799	29
	鹿児島	77	4.616	16	0.495	19	0.686	15	2.829	30	0.857	25
沖縄	41	2.885	41	0.334	45	0.443	41	5.054	7	0.706	33	
合計	4,117	3.240		0.450		0.501		3.378		0.867		

- 注1 「人口当り」は10万人当りの死者数で、算出の基礎となった人口は総務省の平成26年10月1日現在の確定人口である。
- 2 「車両台数当り」は1万台当りの死者数で、算出の基礎となった車両台数は平成27年10月末現在の国土交通省資料による。
- 3 車両台数に含まれている「原付台数」「小特」（ミニカーを含む。）は平成26年4月1日現在の総務省資料による。
- 4 「免許人口当り」は1万人当りの死者数で、算出の基礎となった免許人口は平成27年12月末現在である。
- 5 「道路延長当り」は1000km当りの死者数で、算出の基礎となった道路延長は平成26年4月1日現在国土交通省資料による。
- 6 「走行台[※]当り」は1億走行台[※]当りの死者数で、平成22年道路交通センサスによる路線（一般道路計）の走行台[※]から算出。

2 鳥取県の交通事故

(1) 鳥取県の交通事故の推移

死者数は2年連続で増加した。
発生件数及び負傷者数は11年連続して減少した。



(注) 指数は、平成元年を100とする。

区分 年別	死者数	区分 年別	死者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和23年	27	46	134	平成6年	2,724	56	3,070
24	9	47	120	7	2,654	66	2,970
25	18	48	109	8	2,717	69	3,103
26	24	49	72	9	2,765	68	3,075
27	31	50	89	10	2,846	64	3,217
28	21	51	90	11	2,677	58	3,413
29	32	52	61	12	3,074	55	3,943
30	38	53	54	13	3,172	61	4,152
31	42	54	52	14	3,075	79	4,051
32	34	55	61	15	2,934	61	3,772
33	45	56	57	16	3,048	51	3,992
34	60	57	71	17	2,970	45	3,905
35	38	58	69	18	2,878	39	3,698
36	63	59	61	19	2,539	34	3,236
37	49	60	60	20	2,138	30	2,733
38	55	61	58	21	1,952	37	2,439
39	50	62	53	22	1,812	42	2,273
40	85	63	50	23	1,668	26	2,076
41	87	平成元年	73	24	1,389	30	1,658
42	104	2	71	25	1,280	25	1,619
43	106	3	81	26	1,168	34	1,396
44	112	4	70	平成27年	1,053	38	1,250
45	117	5	69				

(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率

	発生件数		死者数		負傷者数		人口*	第一当居住地別	
		1万人当り		1万人当り		1万人当り		発生件数	1万人当り
岩美町	12	10.5	0	0.0	14	12.2	11,469	17	14.8
鳥取市	362	18.8	12	0.6	431	22.4	192,507	300	15.6
八頭町	12	7.1	1	0.6	12	7.1	16,998	31	18.2
若桜町	3	9.0	0	0.0	5	14.9	3,349	6	17.9
智頭町	9	12.8	1	1.4	11	15.6	7,047	4	5.7
湯梨浜町	30	18.1	1	0.6	38	22.9	16,578	26	15.7
三朝町	7	10.7	2	3.1	7	10.7	6,526	9	13.8
倉吉市	99	20.3	8	1.6	112	23.0	48,694	90	18.5
北栄町	31	20.9	1	0.7	41	27.7	14,802	27	18.2
琴浦町	20	11.5	1	0.6	22	12.6	17,461	31	17.8
大山町	24	14.7	1	0.6	31	19.0	16,286	30	18.4
日吉津村	12	34.9	0	0.0	14	40.7	3,443	6	17.4
米子市	343	23.2	4	0.3	412	27.9	147,677	254	17.2
南部町	9	8.2	0	0.0	11	10.0	10,988	21	19.1
境港市	44	12.9	2	0.6	49	14.4	34,104	41	12.0
伯耆町	19	17.1	2	1.8	20	18.0	11,125	17	15.3
江府町	6	20.0	0	0.0	8	26.7	3,000	2	6.7
日野町	5	15.0	2	6.0	3	9.0	3,338	6	18.0
日南町	6	12.5	0	0.0	9	18.8	4,796	9	18.8
合計	1,053	18.5	38	0.7	1,250	21.9	570,188	927	16.3

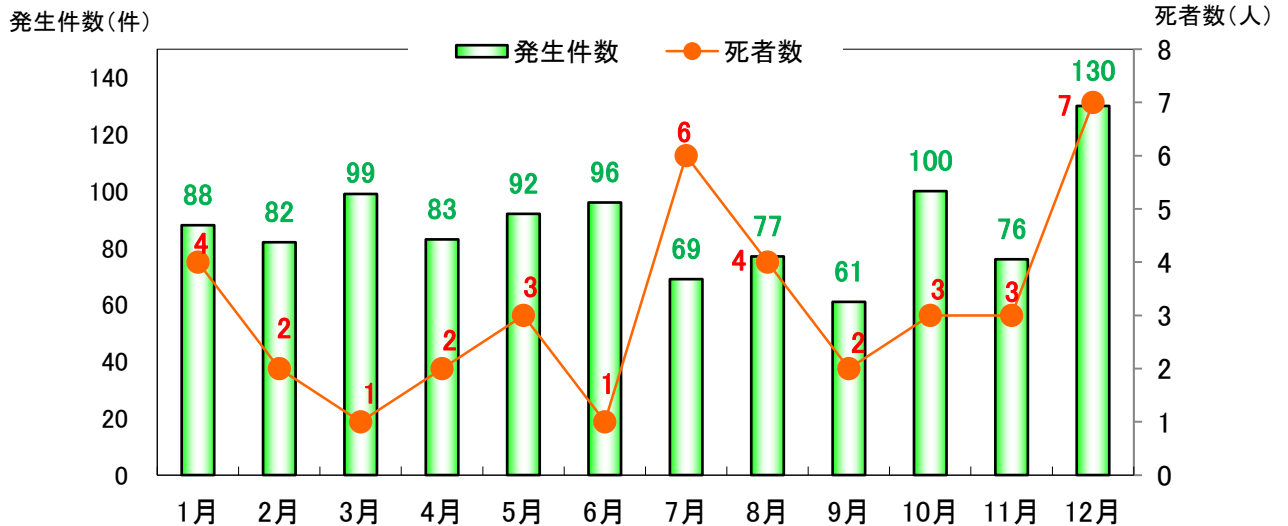
* 人口は、鳥取県地域振興部統計課資料「鳥取県年齢別推計人口(平成27年10月1日現在)」による。

県外者	116
不明	10
総計	1,053

(3) 月別発生状況

発生件数は、12月、10月の順に多く発生した。また、9月は最も少なく61件であった。

死者数は、12月が7人と最多で、次いで7月が6人であった。



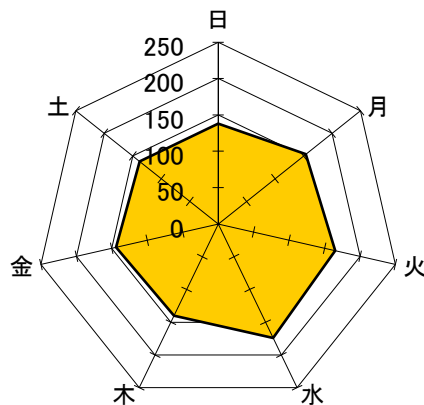
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	88	82	99	83	92	96	69	77	61	100	76	130	1,053
死者数	4	2	1	2	3	1	6	4	2	3	3	7	38
負傷者数	103	98	116	97	114	115	76	96	74	120	88	153	1,250

(4) 曜日別発生状況

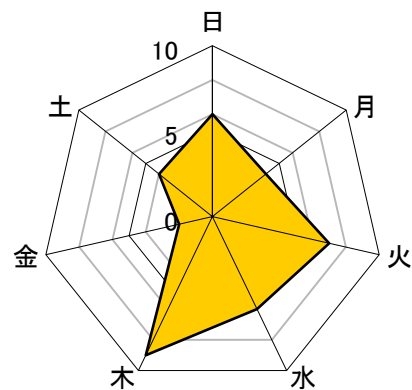
発生件数は、水曜日が174件と最も多く、日曜日と土曜日が138件と最も少ない。

死者数は木曜日が9人と最も多いが、負傷者数は最も少ない。

【曜日別発生件数】



【曜日別死者数】

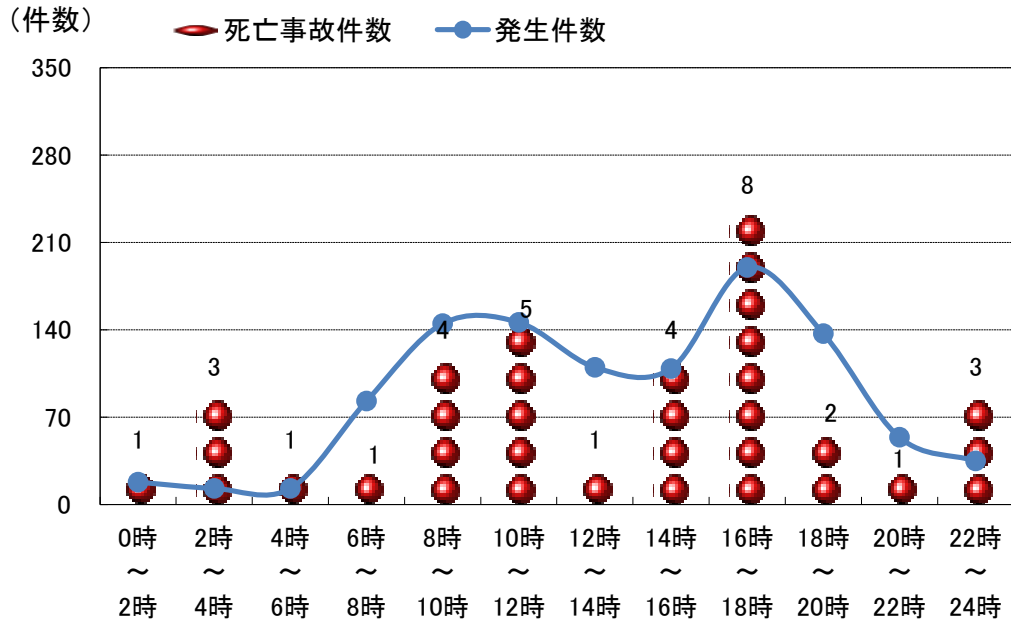


	日	月	火	水	木	金	土	合計
発生件数	138	154	165	174	140	144	138	1,053
死者数	6	4	7	6	9	2	4	38
負傷者数	176	180	199	190	155	174	176	1,250

(5) 時間別・昼夜別発生状況

ア 時間別

発生件数、死者数とも、16時～18時の薄暮時間帯に多く発生している。

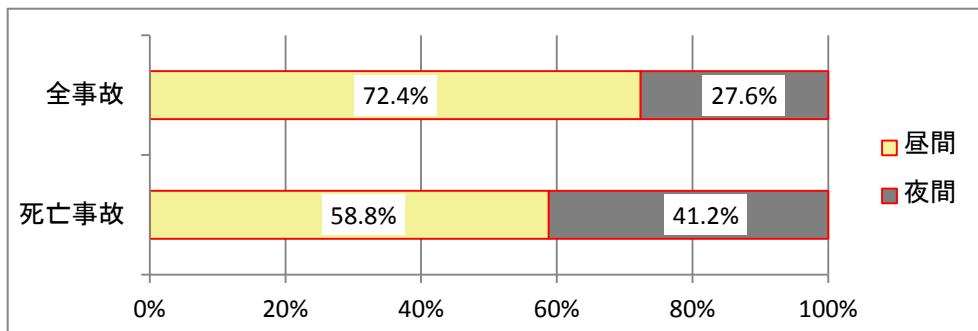


発生時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
発生件数	18	13	13	83	145	146	110	109	190	137	54	35	1,053
死亡事故件数	1	3	1	1	4	5	1	4	8	2	1	3	34

イ 昼夜別

全事故の72.4%が昼間に発生している。

死亡事故も、昼間の発生が58.8%と高い。

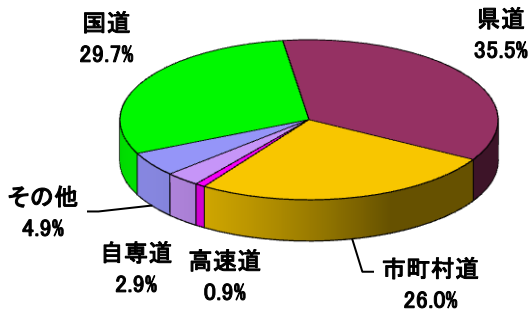


	昼間	夜間	合計
全事故件数	762	291	1,053
死亡事故件数	20	14	34

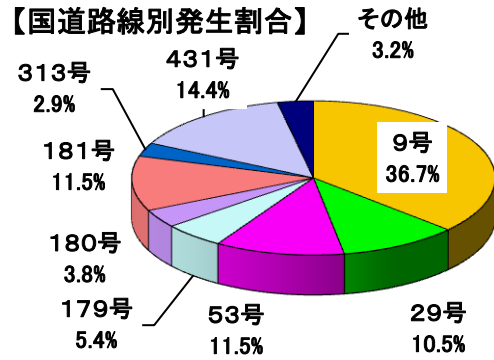
(6) 道路別発生状況

県道での発生が多い。
国道では国道9号が多い。

【道路別発生割合】



【国道路線別発生割合】



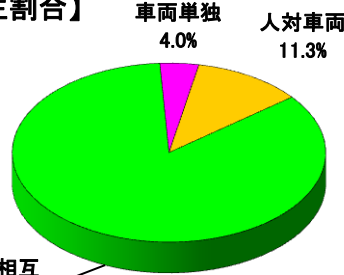
	国 道									計
	9号	29号	53号	179号	180号	181号	313号	431号	その他	
発生件数	115	33	36	17	12	36	9	45	10	313

	高速道	自専道	県道			市町村道	その他	合計
			主要	一般	計			
発生件数	9	31	147	227	374	274	52	1,053

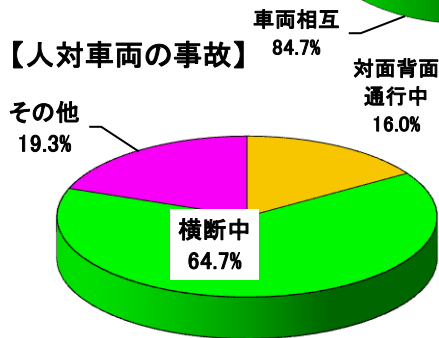
(7) 事故類型別発生状況

人対車両では、道路横断中が多い。
車両相互では、追突が多い。

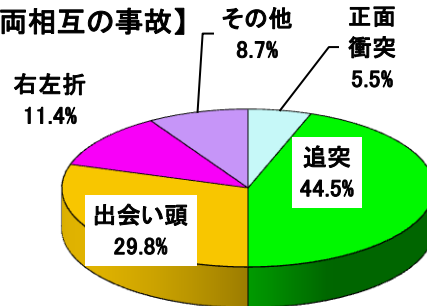
【類型別発生割合】



【人対車両の事故】



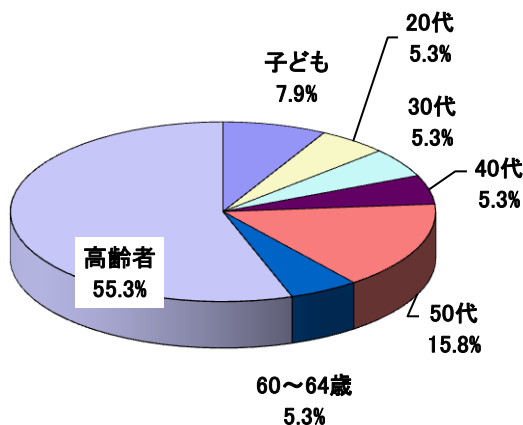
【車両相互の事故】



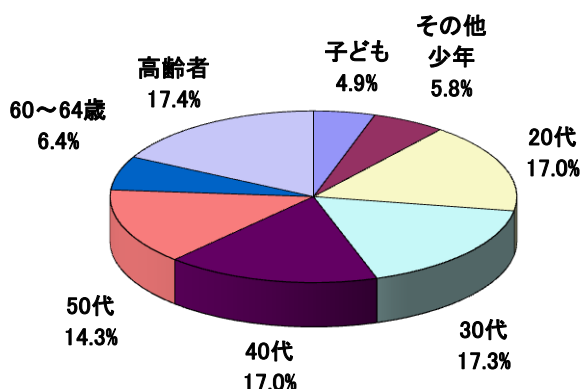
	人 対 車 両			車 両 相 互					車 両 単 独		列車	合計
	対面背面通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他	工作物衝突	その他		
発生件数	19	77	23	49	397	266	102	78	28	14		1,053
総数	119			892					42			1,053

- (8) 年齢別死傷者数
死者数、負傷者数とも高齢者が占める割合が高い。

【年齢層別死者の割合】



【年齢層別負傷者の割合】

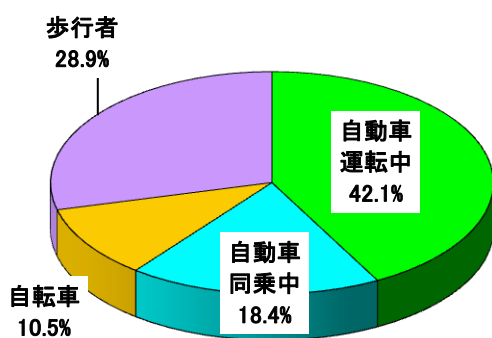


	子ども	その他少年	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
死者数	3		2	2	2	6	2	21	38
負傷者数	61	73	212	216	212	179	80	217	1,250

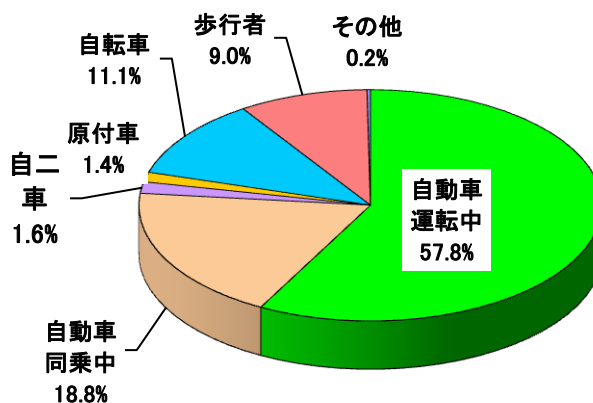
※ 子どもは、中学生以下

- (9) 状態別死傷者数
死者数、負傷者数とも、自動車運転中の割合が高い。

【状態別死者の割合】



【状態別負傷者の割合】



	自動車		自二車		原付車		自転車		歩行者	その他	合計
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者数	16	7					4		11		38
負傷者数	723	235	20		17		138	1	113	3	1,250

3 子どもの交通事故

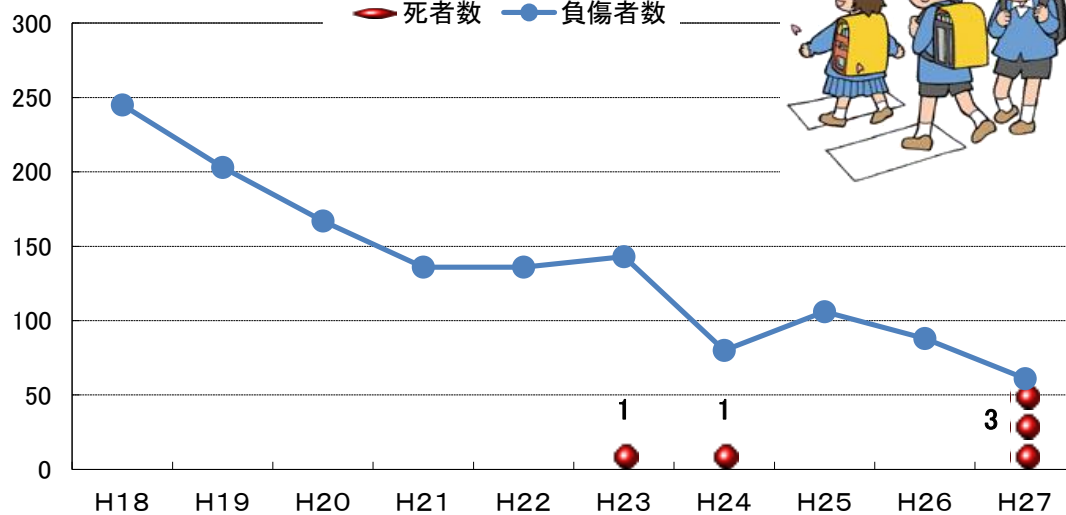
(1) 子どもの交通事故の推移

負傷者数は前年より減少し61人だった。

平成24年以来となる、子どもが死亡する事故が発生し、3人死亡した。

(自動車同乗中:2人、自転車運転中:1人)

負傷者数(人)

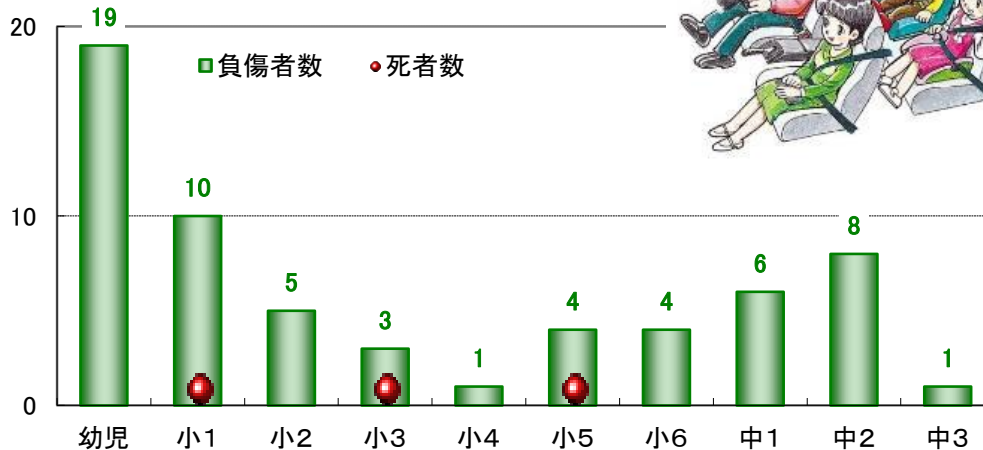


	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
死者数						1	1			3
負傷者数	245	203	167	136	136	143	80	106	88	61

注:子どもとは、中学生以下

(2) 学年別死傷者数

(人)



	幼児	小学生						中学生			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
死者数		1		1		1					3
負傷者数	19	10	5	3	1	4	4	6	8	1	61

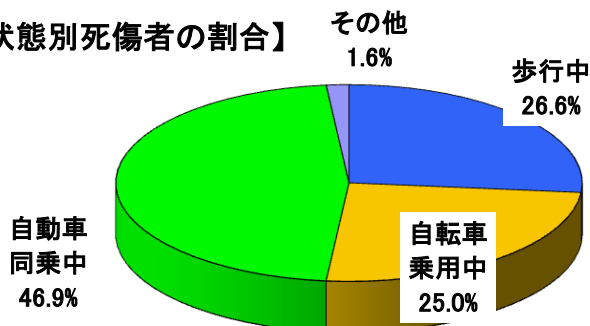
(3) 状態別死傷者数

自動車同乗中が全体の46.9%で最も多い。

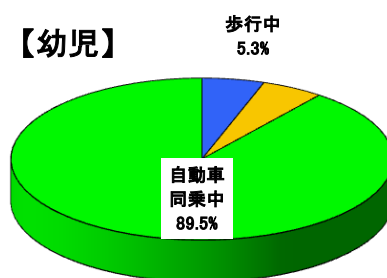
幼児は、自動車同乗中が89.5%で最も多い。

小学生は、歩行中が46.7%で最も多く、中学生は、自転車乗用中が60.0%で最も多い。

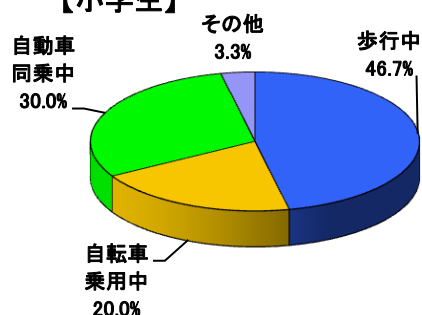
【状態別死傷者の割合】



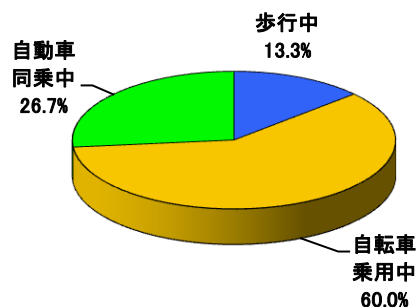
【幼児】



【小学生】



【中学生】



		自転車		自動車		二輪車		その他	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中		
死者数	幼児								0
	小学1~3				2				2
	小学4~6		1						1
	中学生								0
	計	0	1	0	0	2	0	0	3
負傷者数	幼児	1	1		17				19
	小学1~3	12	1		5				18
	小学4~6	2	4		2			1	9
	中学生	2	9		4				15
	計	17	14	1	0	28	0	0	61

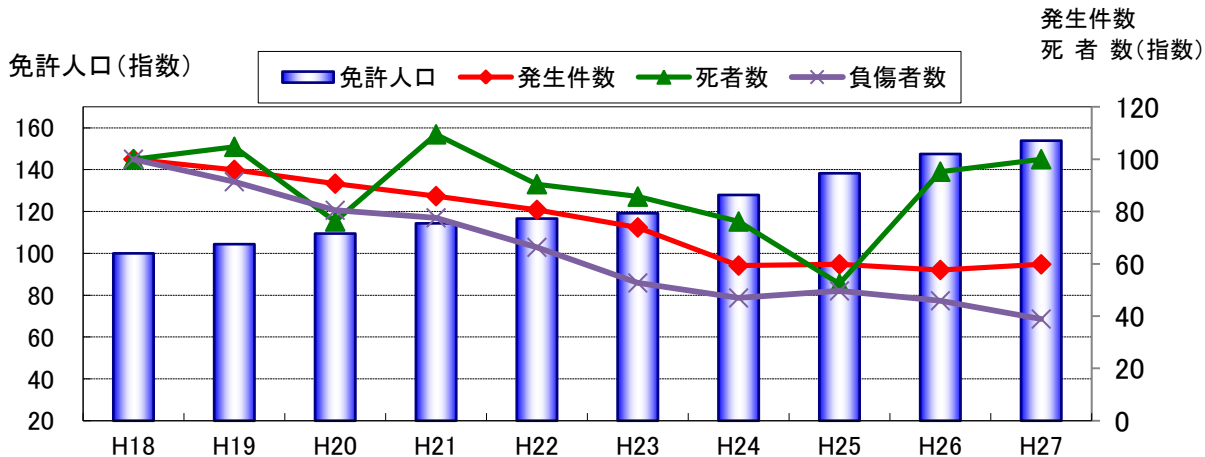
4 高齢者の交通事故

(1) 高齢者の交通事故の推移

高齢者の死者数は、平成26年より1人増加し、全死者に占める高齢者の割合は55.3%と高率であった。

高齢者が第1当事者となった事故は、前年より増加。(前年比9件増)

高齢者の免許人口は年々増加し、平成18年の約1.5倍。



※ 発生件数は高齢者が第1当事者の事故件数。指数は平成18年を100とする。

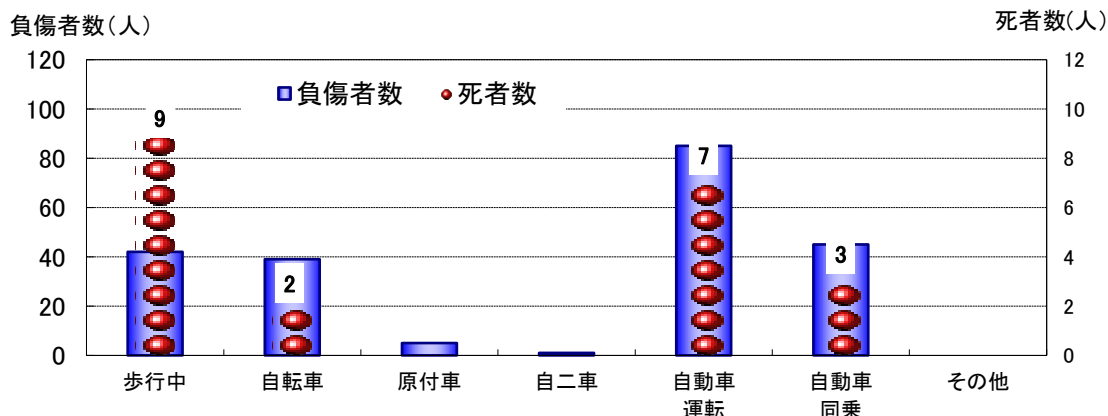
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
発生件数	418	401	379	359	337	309	248	250	241	250	
死者数	21	22	16	23	19	18	16	11	20	21	
負傷者数	558	510	449	433	370	294	262	277	256	217	
高齢者免許人口	58,491	61,063	64,029	66,881	68,218	69,711	74,822	80,882	86,272	90,002	
割合	発生件数	14.5%	15.8%	17.7%	18.4%	18.6%	18.5%	17.9%	19.5%	20.6%	23.7%
	死者数	53.8%	64.7%	53.3%	62.2%	45.2%	69.2%	53.3%	44.0%	58.8%	55.3%
	負傷者数	15.1%	15.8%	16.4%	17.8%	16.3%	14.2%	15.8%	17.1%	18.3%	17.4%

※ 割合は、全年齢に対する高齢者の割合

(2) 状態別

高齢者の死者数は、歩行中が9人で最も多く42.9%を占める。

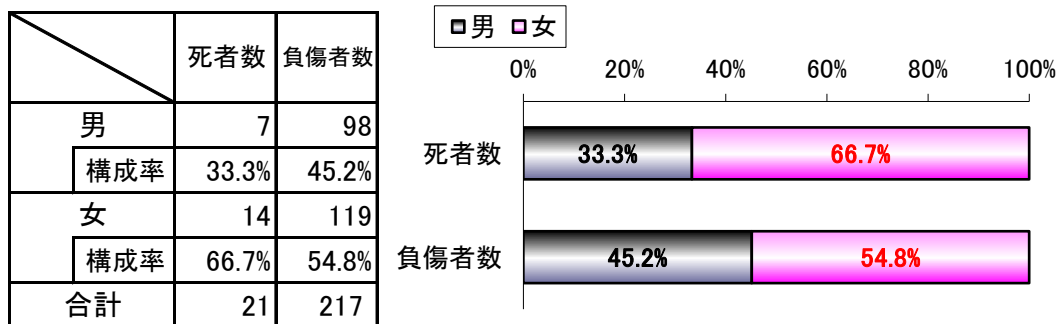
負傷者数は、自動車運転中が39.2%で最も多い。



	歩行中	自転車乗車中	原付乗車中	自二車乗車中	自動車運転中	自動車同乗中	その他	合計
死者数	9	2			7	3		21
構成率	42.9%	9.5%			33.3%	14.3%		100%
負傷者数	42	39	5	1	85	45		217
構成率	19.4%	18.0%	2.3%	0.5%	39.2%	20.7%		100%

(3) 男女別死傷者数

死者、負傷者ともに女性が多い。

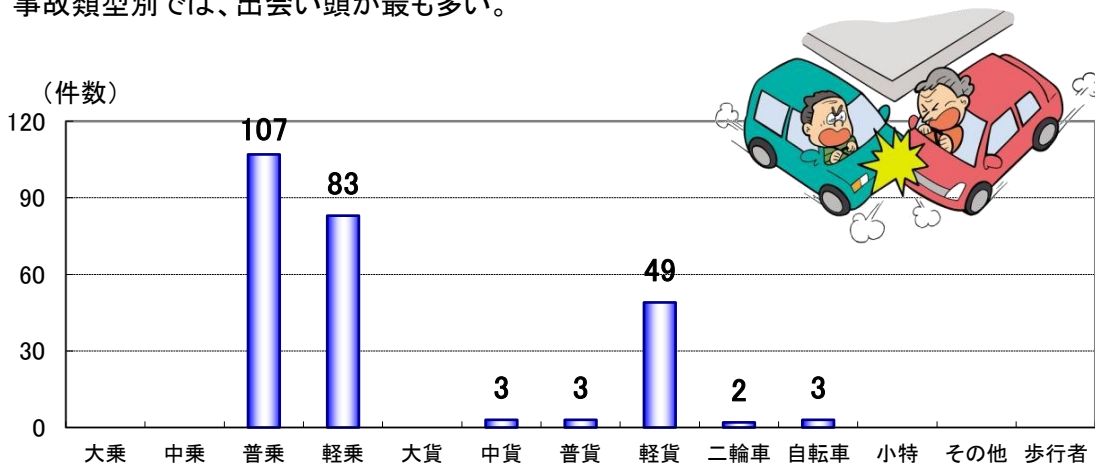


(4) 高齢者(第1当)事故件数

男女別では、男性が多い。

事故の車種別では、普通乗用自動車が多くなり、次いで軽四輪乗用自動車、軽四輪貨物自動車の順となっている。

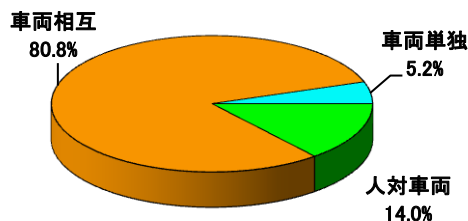
事故類型別では、出会い頭が多くなり、



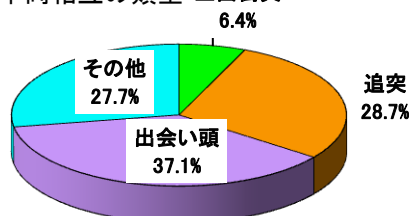
ア 第1当事者車種別・男女別

	大型乗用	中型乗用	普通乗用	軽四乗用	大型貨物	中型貨物	普通貨物	軽四貨物	自二車(含原付)	自転車	小特	その他	歩行者	合計
発生件数			107	83		3	3	49	2	3				250
男			77	44		3	2	34	1	2				163
女			30	39			1	15	1	1				87

イ 事故類型別



ウ 車両相互の種類 正面衝突

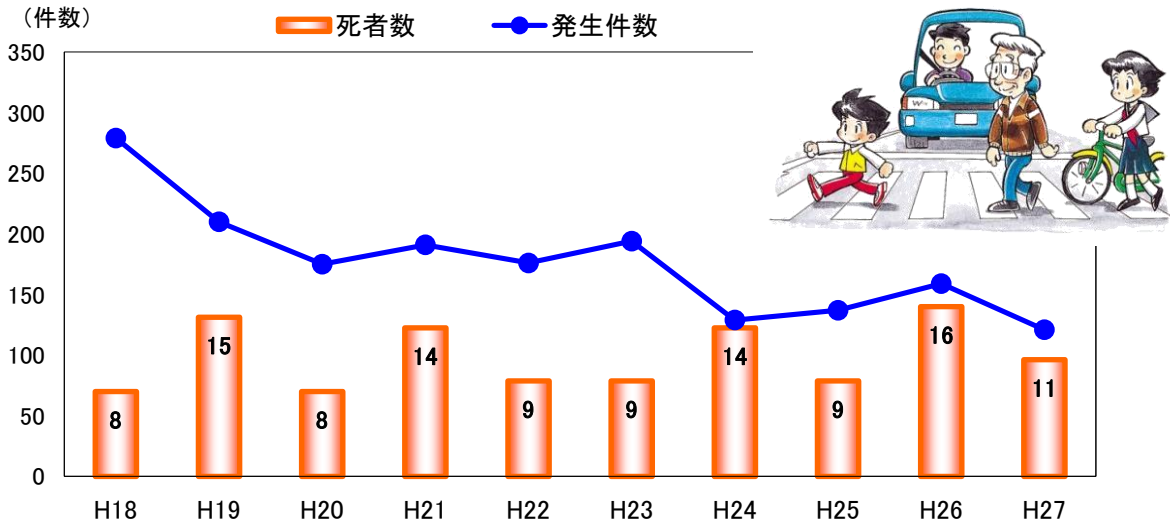


	人対車両		車両相互				単独	踏切	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	その他			
発生件数	24	11	13	58	75	56	13		250

5 歩行者の交通事故

(1) 歩行者の交通事故の推移

発生件数、死者数とも前年より減少した。

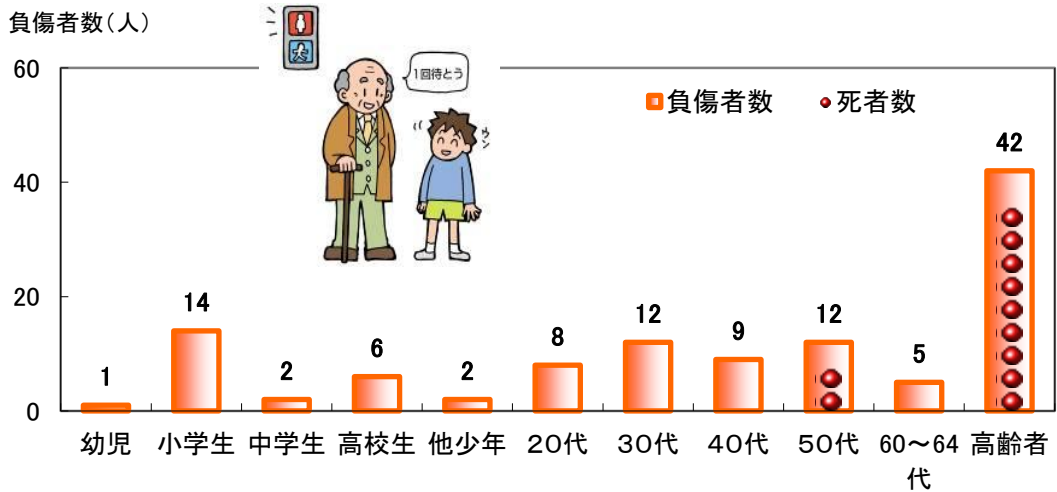


	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
発生件数	279	210	175	191	176	194	129	137	159	121
死者数	8	15	8	14	9	9	14	9	16	11
負傷者数	277	196	174	182	173	190	116	129	148	113

※ 発生件数は、歩行者が当事者となった交通事故の件数
 ※ 死者数、負傷者数は歩行者の人数

(2) 年齢層別死傷者数

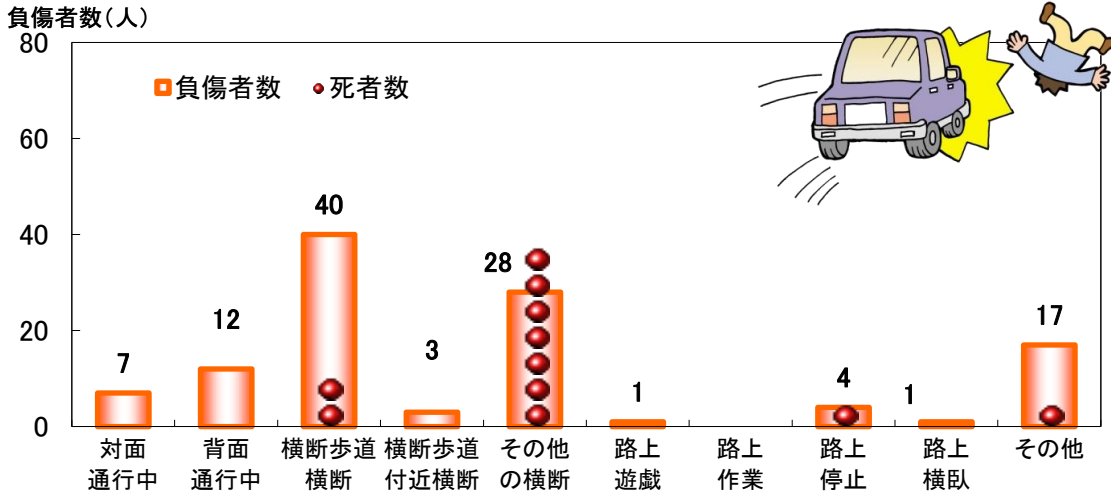
死者数・負傷者数とも高齢者が多い



	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64代	高齢者	計
合計	1	14	2	6	2	8	12	9	14	5	51	124
死者数									2		9	11
負傷者数	1	14	2	6	2	8	12	9	12	5	42	113

(3) 事故類型別死傷者数

発生件数、負傷者数とも横断歩道横断中の事故が多く、死者数はその他の横断が多い。

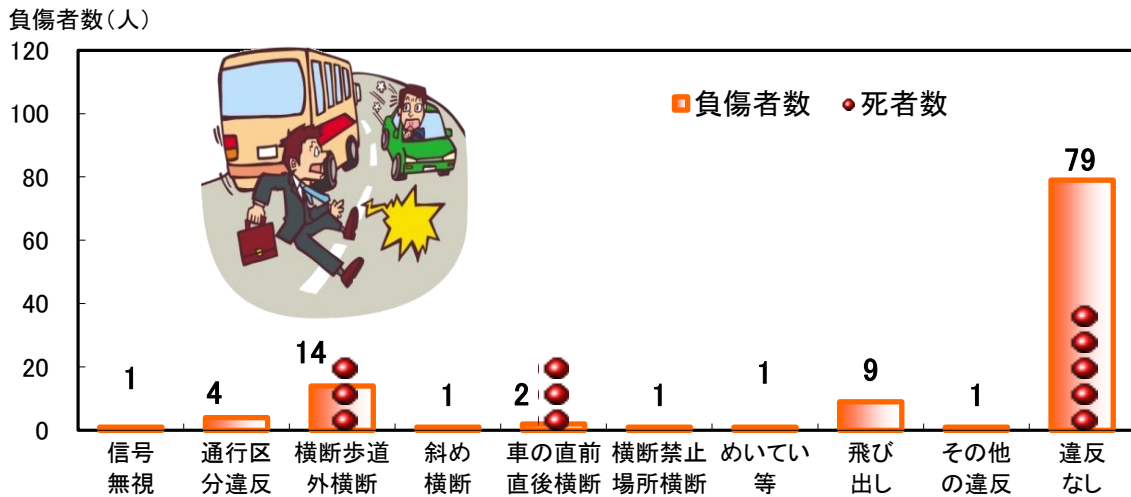


	対面通行中	背面通行中	横断歩道横断中	横断歩道付近横断	その他の横断	路上遊戯	路上作業	路上停止	路上横臥	その他	合計
発生件数	7	12	39	3	35	1		5	1	18	121
死者数			2		7			1		1	11
負傷者数	7	12	40	3	28	1		4	1	17	113

(4) 歩行者の違反別死傷者数

死傷者の約30%に何らかの交通違反があった。

歩行者の違反のうち、横断歩道外横断が最も多かった。

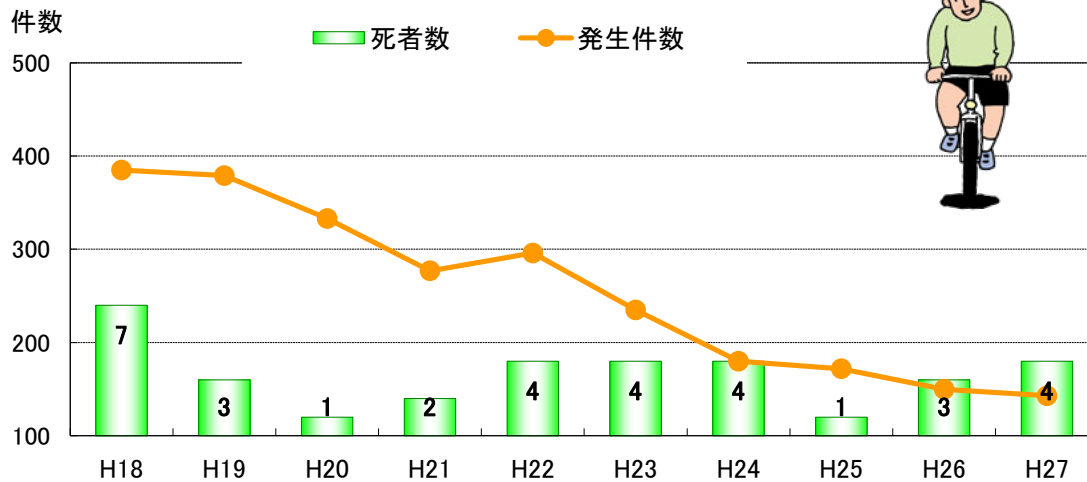


	信号無視	通行区分違反	横断歩道外横断	斜め横断	車の直前直後横断	横断禁止場所横断	めいてい等	飛び出し	その他の違反	違反なし	合計
死者数			3		3					5	11
負傷者数	1	4	14	1	2	1	1	9	1	79	113

6 自転車の交通事故

(1) 自転車の交通事故の推移

発生件数は前年より減少したが、死者数が増加した。



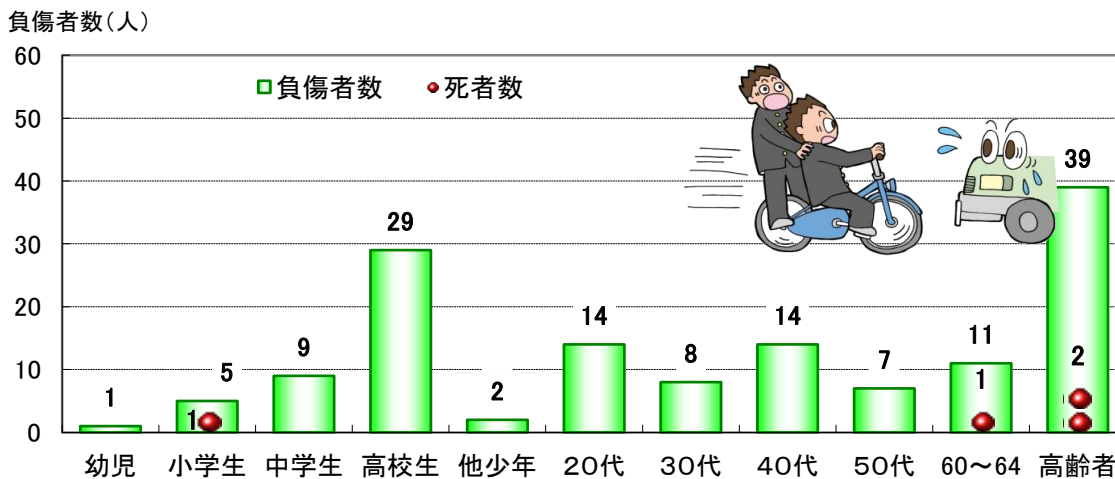
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
発生件数	385	379	333	277	296	235	180	172	150	143
死者数	7	3	1	2	4	4	4	1	3	4
負傷者数	378	371	336	272	291	233	177	169	147	139

※ 発生件数は自転車当事者となった交通事故の件数

※ 死者数、負傷者数は自転車乗車中の人数

(2) 年齢層別死傷者数

死傷者数は、高齢者と高校生が多い。

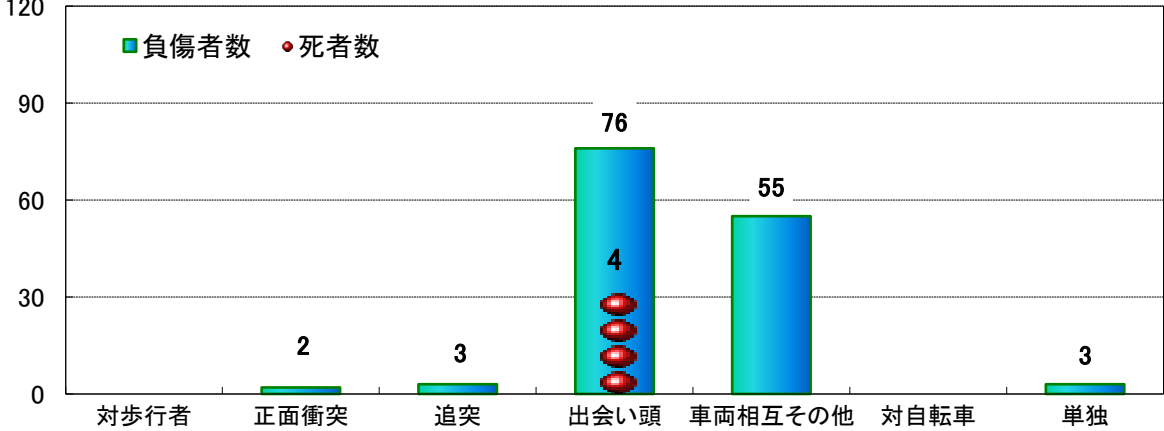


	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	合計
合計	1	6	9	29	2	14	8	14	7	12	41	143
死者数		1								1	2	4
負傷者数	1	5	9	29	2	14	8	14	7	11	39	139

(3) 事故類型別死傷者数

出会い頭が最も多く、半数以上を占めている。

負傷者数(人)

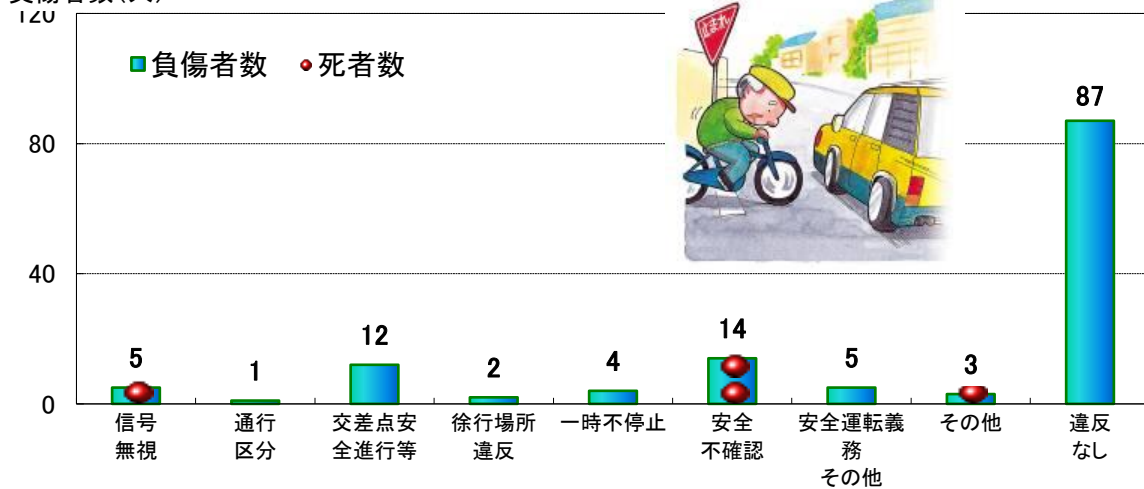


	対歩行者	対車両事故					単独	合計	うち 同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	対自転車	その他			
発生件数	2	2	3	78		55	3	143	1
死者数				4				4	
負傷者数		2	3	76		55	3	139	1

(4) 自転車の違反別死傷者数

自転車の33.1%に違反があり、交差点での安全不確認等が多い。

負傷者数(人)

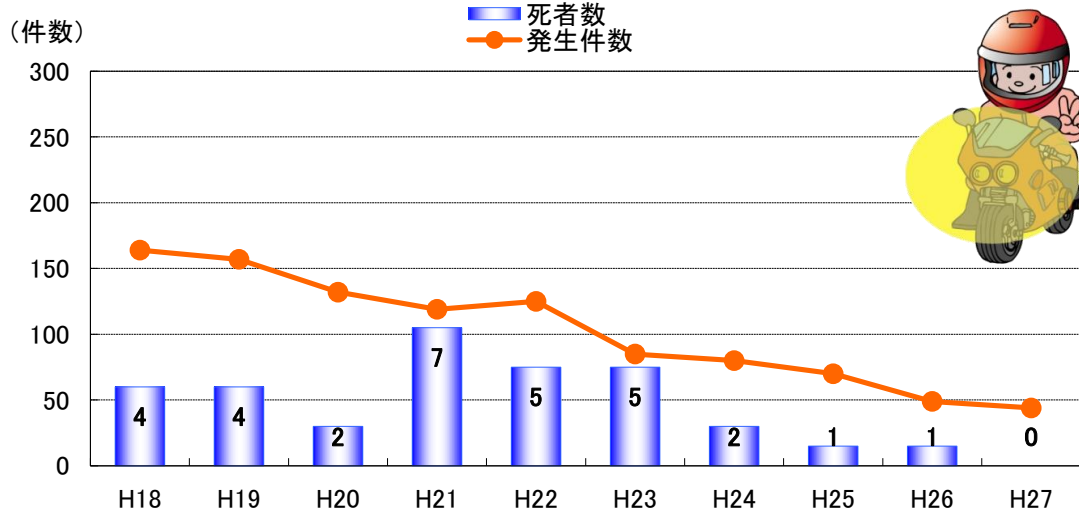


	信号無視	通行区分	交差点安全進行等	徐行場所違反	一時不停止	安全運転義務		その他	計	違反なし	合計
						安全不確認	その他				
死者数	1					2		1	4		4
負傷者数	5	1	12	2	4	14	5	3	46	93	139

7 二輪車(自動二輪・原付)の交通事故

(1) 二輪車の交通事故の推移

発生件数は前年より減少し、死者はなかった。

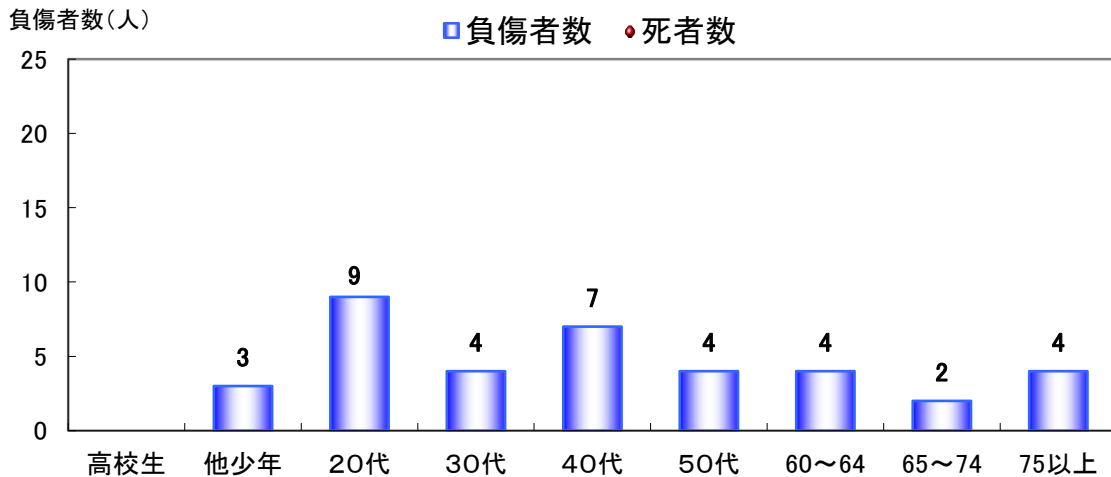


	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
発生件数	164	157	132	119	125	85	80	70	49	44
死者数	4	4	2	7	5	5	2	1	1	
負傷者数	147	150	122	108	118	77	78	66	44	37

※ 発生件数は二輪車事故の件数、死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)

死傷者数は、20代と40代が多い。

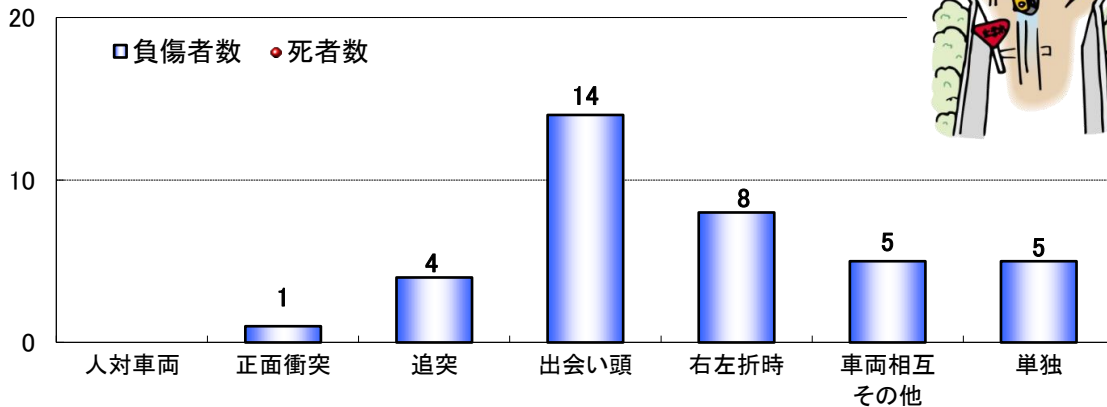


	高校生	その他の少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者		合計
								65~74	75歳以上	
合計		4	11	5	9	5	4	2	5	45
死者数										
負傷者数		3	9	4	7	4	4	2	4	37
負傷なし		1	2	1	2	1			1	8

(3) 事故類型別死傷者数

車両相互による出会い頭と右左折時の事故が多い。

負傷者数(人)



	人対車両	車両相互					単独	踏切	合計	うち同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他				
発生件数	2	1	6	15	10	5	5	44		
死者数										
負傷者数		1	4	14	8	5	5	37		

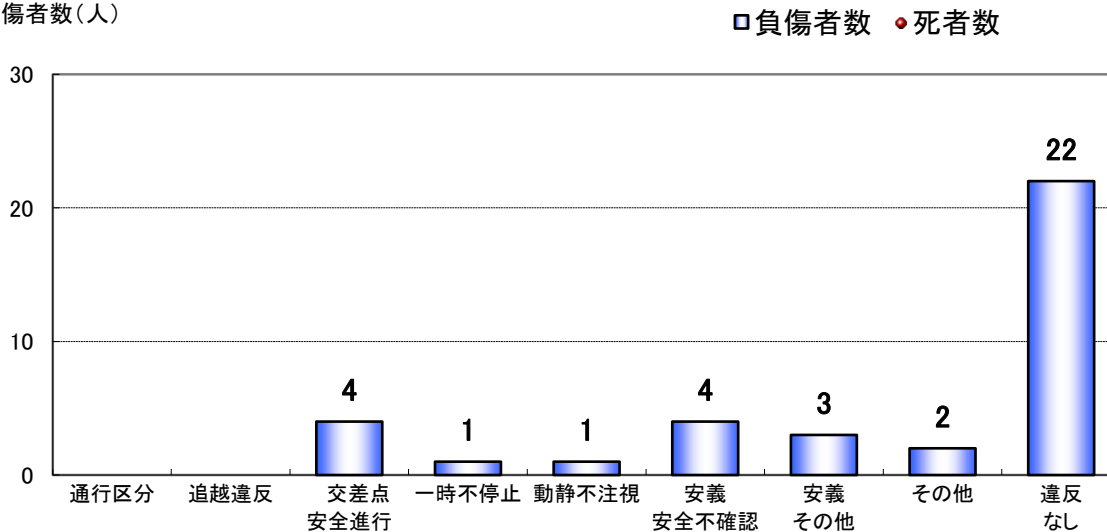
※ 発生件数は二輪車事故が当事者となった事故の件数

※ 死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(4) 二輪車の違反別死傷者数

交差点安全進行義務違反、安全不確認が多い。

負傷者数(人)



	通行区分	追越違反	交差点安全進行義務	一時不停止徐行違反	安全運転義務			その他	違反なし	合計
					動静不注視	安全不確認	安義その他			
死者数										
負傷者数			4	1	1	4	3	2	22	37

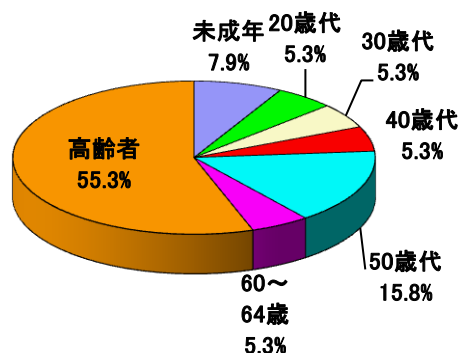
8 交通死亡事故発生状況

(1) 年齢層別・状態別死者数

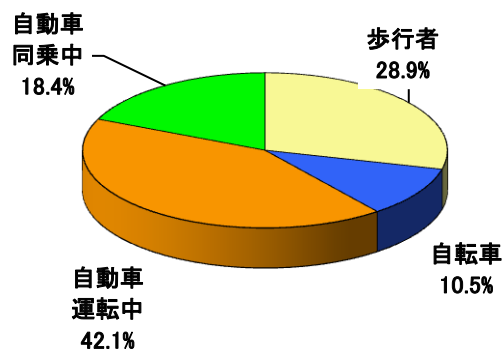
年齢層別では、高齢者が21人(55.3%)で最も多く、次いで50歳代の順となっている。

状態別では、自動車運転中が16人(42.6%)で最も多く、次いで歩行者の順となっている。

【年齢層別死者】



【状態別死者】

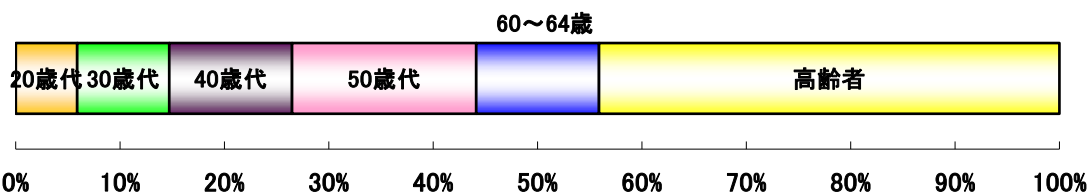


	子ども	高校生	他の少年	20代	30代	40代	50代	60～64歳	高齢者	合計
歩行者							2		9	11
自転車	1							1	2	4
自二・原付										
自動車運転中				2	1	2	3	1	7	16
自動車同乗中	2				1		1		3	7
その他										
合計	3			2	2	2	6	2	21	38

(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数

年齢層別では、高齢者が15件で最も多い。

状態別では、自動車運転中が大半を占める。



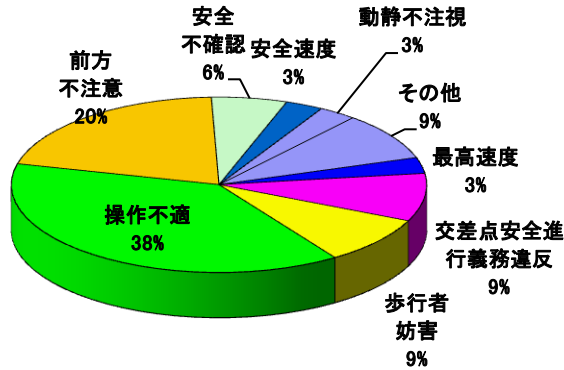
	高校生	他の少年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
自動車			2	3	4	6	4	14	33
自二・原付									
自転車								1	1
歩行者									
その他									
合計			2	3	4	6	4	15	34

※ 他の少年とは、19歳以下で子ども、高校生を除いたもの

(3) 第1当事者の違反別件数

違反別では、ハンドル・ブレーキ等の操作不適が38%で最も多い。

【第1当事者の違反別】



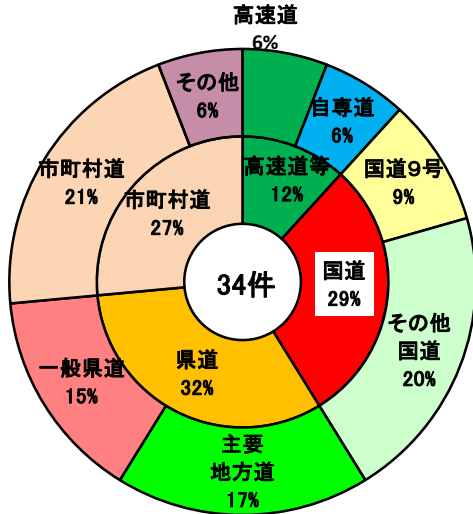
	最高速度	交差点安全進行義務違反	歩行者妨害	操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	予測不適	動静不注視	その他	合計
件数	1	3	3	13	7	2	1		1	3	34

(4) 路線別・道路形状別件数

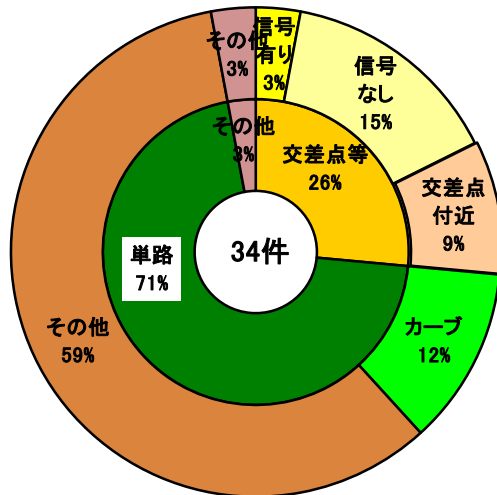
路線別では、県道が32%を占め最も多い。

道路形状別では、単路での事故が71%で最も多い。

【路線別死亡事故】



【道路形状別死亡事故】



	高速道	自専道	国道				県道	市町村道	その他	合計
			9号	29号	53号	その他				
件数	2	2	3	1	1	5	11	7	2	34

	交差点等				単路				踏切	その他	合計
	信号有り	信号なし	交差点付近	計	トンネル	カーブ	その他	計			
件数	1	5	3	9		4	20	24		1	34

平成27年版
図解交通年鑑

鳥取県警察本部交通部交通企画課

鳥取市東町1-271 TEL 0857-23-0110
